

# 教室だより

佐渡市立金井小学校  
佐渡ことば・こころの教室  
平成23年12月21日  
第774号

〒952-1209 佐渡市千種155

TEL: 0259 (63) 4156 (直) 4115 (代) FAX: 4117

<http://kanai-es.sado.ed.jp> E-mail: kanai-es@sado.ed.jp



来年のNHK大河ドラマ「平清盛」の題字を書いたのは、金澤翔子さんという26歳の書道家です。金澤さんはダウン症で知的障害がありながらも、今月は奈良東大寺で個展を開くほどの腕前の方です。金澤さんが書いた「希望」「光」の文字のような新年の訪れを願いたいと思います。

## 子どもの行動と大人のツッコミどころ

佐渡総合病院小児科  
岡崎 実

漫才はボケとツッコミで笑いをとります。ドット笑いが沸くためにツッコミ側の機知に富んだ言葉もありますが、タイミングよく突っこむことで反応の大きさが決まります。

私は多動の子どもたちと接する時、剣道で言う「出ばな」、「引きばな」、「居ついたところ」という3つの隙の考え方を応用しています。剣道では、こちらが打つより先に打とうと考えている相手の意識が芽生えた出ばなを察知することを「先々の先」と言います。意識の起こりをとらえて相手が動く前に打ち終えていることが極意です。子どもの問題行動の意識の起こりをとらえ、直ちに適切な指示を出します。「引きばな」は不適切な行動を続けている子どもが「止めようかな」という意識が芽生えたと瞬間をいい、心を込めた承認サインを送ります。そして、何をしたらいいのか分からずに不安を覚えている「居ついたとき」にはそばに寄り、穏やかに短い指示で段取りよく子どもを動かします。

剣道と同様に語るだけで稽古が足りず、まだまだ子どもたちは強敵です。

## 励まし続けることの大切さ

「全校漢字テストで合格点を取る」という目標を立てたAさんが通っています。Aさんは、見たものを正確にとらえることが苦手です。通級指導では、主に空間認知の課題をやっていましたが、担任から相談を受け、漢字学習について連携して指導を行うことになりました。

担任と話し合い、通級指導では部首の形や位置をとらえることに重点を置いた指導をし、クラスでは筆順を声に出しての空書きや指書き、写し書きを大切にした指導を行うこととしました。その中で、担任も私も、Aさんを励まし続け、頑張りを認めていくように心掛けました。

連携した指導により、Aさんに変化が現れました。クラスで一番多く自主学習をしたり、授業中に進んで発言をしたりするようになりました。その度に、担任はAさんを褒め、漢字学習では正しい筆順を意識させる指導を続けていきました。

テストの結果は、合格点には届きませんでした。本人の納得のいく点数を取ることができました。それよりも、担任と私は、漢字学習をきっかけに、何事にも積極的に取り組むようになったAさんの姿を共に喜び合いました。(本間)

# 親の会 コーナー



会員の声 No.48

## 「笑顔 咲く」 K. N

「ことばの教室へ来てみませんか」と誘っていただいてから、4か月あまり。毎回、うれしそうに私と手をつないで通う「ことばの教室」。娘にとって、この教室は、母を独り占めし、先生を独り占めできる楽しい時間なのでしょう。

始めに戸惑っていたのは、親だけ。心配していたのも親だけ。「うまく言えたよ」と得意そうな娘の笑顔を見ていると、「今、この時間は娘にとってこれからの成長に必要なんだな」と思えるようになりました。

子どもは、どんどん前進していきます。親の私も負けずについていかななくては。



# お知らせ



## これからの行事予定

3学期には、以下の行事等を行います。

- 第2回判定委員会（2月）
- 第2回親の会学習会（2月）
- 終了者懇話会（3月）

詳しい内容は、決まり次第お知らせします。たくさんの御参加をお願いいたします。



## 情報交換会、よろしくお祈りします

冬季休業中に、当教室に通う児童が在籍する小学校との情報交換会を行います。個別の指導計画を基に、2学期の指導の評価や3学期の指導の方向等について、担任や保護者の皆様と検討させていただきます。

御多用とは存じますが、連携を密にし、よりよい支援が行えますよう、御協力をお願いいたします。

